



広報あくね

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行
昭和51年5月10日 鹿児島県阿久根市役所編集発行 1部10円

世帯数と人口
(4月1日現在)

世帯数	9,189	(-45)
人口	30,494	(-404)
男	14,204	(-187)
女	16,290	(-217)

()内は前月比



郷土に生きる

花売りおじさん

牧内 長尾 捨次郎さん (69)

牧内から市街地まで5キロメートル。リヤカーに花を一杯積んで、今日も長尾さんは、街のすみずみを歩きまわります。

「奥さん、花はいりま

せんかア」と人の良さそうな声に集まる人たち。自分を飾らない気さくな人柄は、「花売りおじさん」と親しまれ、すっかり街の人気者です。「リヤカーで売るようになってから、5年足らずです。以前は、花シバだけを売っていました。最近は、どこの家も、きれいな花をさされますねエ」と言われる顔に生きる喜びが感じられます。クロキシバ・カミシバ・サカキなどの花シバは山でとり、生花は鹿児島からの仕入れです。今ではお得意さんもふえ、予約注文が多いとのこと。長尾さんの1日は、花で始まり、花で終ります。

昭和51年

5月号



名譽市民の表彰状を受ける松田さん

123人336団体を表す

昭和50年度の総合表彰式

名譽市民松田氏に盛んな拍手

三人を特別市民表彰

昭和五十年度の区長として、市政に協力していただいた方をはじめ、教育や農林業・水産商工業の振興に功労のあった方など、三百三十六人と、百二十三団体が、五月一日、市民会館で行われた総合表彰式で表彰されました。この席上で、松田進元市長に、名譽市民の称号が贈られ、弓場藤七さん・堀尾智一さん・佐々木安太郎さんの三人が、産業振興の功労者として、特別表彰されました。

名譽市民の称号を贈られた元市長の松田さんは、道夫人と出席され、坂元市長から名譽市民の表彰状と名譽市民章・記念品を受けられると、約四百人の会場からお祝いの拍手がおくられました。

特別表彰は、永年にわたり阿久根市産業発展に貢献された七十歳以上の方を対象に、元阿久根市農協長として、農業振興に尽力された堀尾智一さん、元黒之浜漁協長として漁業振興に尽力された堀尾智一さん、通り会会長として、魅力ある商店街づくりに貢献された佐々木安太郎さん、の三人が表彰されました。

また、永年区長として市政にご協力いただき、地域社会の発展と福祉の向上に貢献している十一年勤続の宮園岩藏・上野野長・大橋一雄・堀尾智一、年勤続五年以上で退職した人、御手洗順次、山下正雄、早水富雄、原崎一、古川澄治、内閣總理大臣表彰伝達の二人が表彰されました。

名譽市民の表彰状を受ける松田さん

た御手洗順次さんら五人に、感謝状が贈られました。

このほか、納税や国民年金保険料納入の功労者として、昭和五十年度の区長さんや婦人会などが表彰されました。また、たばこ販売功労者として新田政太さんと角時義さんの二人が、感謝状を受けられたほか、市税納入優良団体も表彰されました。

表彰のおもなものは、次のとおりです。（敬称略）

名譽市民の称号授与

元阿久根市長 松田 進

特別市民表彰

佐々木安太郎

区長永年勤続表彰

堀尾智一 長年勤続十年

大橋一雄 地域社会の発展と福祉の向上に貢献している十一年勤続の宮園岩藏・上野野長・大橋一雄・堀尾智一、年勤続五年以上で退職した人

御手洗順次 山下正雄 早水富雄

内閣總理大臣表彰伝達

原崎一 古川澄治 勤続五年以上で退職した人

昭和五十年国勢調査 大瀬休次郎

造園組合、若汐生活改善グループ

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇都清任、坂元庄太郎

石沢正徳、迫口昭雄、永井野治

中村ミチエ、下關一男、羽田義成

平川満則、川崎義介、川崎正人、

小幡秀雄、園田福義、園田栄、

小島勝利、浦島利治

麦生田小次郎、笹原義雄、筒賀志

中園太市、宇

市県民税の均等割額千円に

地方税法改正される

昭和二十六年から現在まで、永い間据え置かれていた市県民税の均等割額などが、地方税法の改正により、五十一年度分から引き上げられることになりました。

これは、今日の経済情勢や物価水準などを考慮して、税率改正されたものです。

改正のおもな内容は、市県民税が別表のとおり改正され、均等割額三百円が内に引き上げられたものです。

区分	改正前	改正区分	改正
個人	市民税 200円		700円
	県民税 100		300
法人	資本金等が 1千万円を 超える法人 4000	資本金等が 1億円を超 える法人	従業員が100人 を越える法人 24000
	資本金等が 1千万円以 下の法人 2400	資本金等が 1千万円 から1億円以下の法人	従業員が100人 以下の法人 12000
		資本金等が 1千万円以下 の法人	7200

改正された市県民税と法人市民税

婦の市県民税については所得限度額が十万円引き上げられ、七十万円まで非課税となります。老年者控除についても限度額が五百万円引き上げられ、一千円までは老年者控除が受けられます。個人の白色申告者の専従者控除も、一人当たり三十万円から四十万円の控除に改正されました。固定資産税では、宅地・山林・原野・池沼維持地の課税標準額は、五十年度に対し一・二倍から一・三倍になります。

道路は、産業・経済・文化などの専門家による意見を参考して、市では、産業基盤整備のひとつとして、市道や農道の舗装をはじめ、道路の新設改良に努め、一方、交通の円滑化を図り公用道路を守るために、道路占用には許可制をとっています。

道路占用は届出を

みんなで守ろう公共用地



多い道路の不法占用

三十八年度から据え置かれていた農地の課税標準額は、今回の改正により一・一倍から一・二倍に

なります。
五十年に新築された家庭の課税標準額は、前年度に比べ、木造家屋で一・五倍、鉄筋コンクリートによって、五十一年度から課税されたりで一・四倍、鉄骨造りで一・三倍となります。

従つて税額も、同程度引き上げられることになります。

また、固定資産税は、土地の評価額十五万円未満、家庭の評価額が、十二万円から十五万円に改正されました。

なお、国民健康保険税の課税標準額が、十二万円から十五万円に改正されました。

している例もあるようです。

道路や公共用地と隣接する土地の宅地造成や工事には、次のようにことを守ってください。

道路占用の届出

道路敷内を電柱や組立鉄柱、廣告、建築用の足場や板掛け、砂利や木材などの材料置場などに利用したり、個人宅より路面上に用排水管を埋設したり、露店・物品置場などに使用される場合は、占用前に必ず、道路管理者に占用許可の申請をし、許可を受けてください。

道路管理者の立合い

を必要とする工事等

また道路のほか、公共用地に隣接する土地を、宅地造成のため埋立てたり、ブロックへの工事などを立てる場合、公共用地の管理者と事前に協議して、境界をはっきりと確認してから、着工するよう義務付けられています。

ところが、届出や許可が必要なことを知らなかつたり、忘れたりには許可制をとっています。

八万円未満、償却資産の評価額百萬円未満は、それぞれ免税となっていますが、課税標準額の改正により、五十一年度から課税されたりで一・四倍、鉄骨造りで一・三倍になります。

なお、宅地造成などの慶・農地を転用する場合は、造成前に農業委員会の許可を必要とします。

出席者

上野 助
片野 美子
川崎 伸
京田 伸
追口 伸
大尾 伸
中嶋 伸
餅板 元
小野 伸
松崎 伸

鶴見 勲
馬尾 勤
武道 弘
宗治 幸
太市 藏
義文 善
義成 善
義幸 喜

牛 滝
温州 みかん
園 甘茶園
大波 木本野
阿久根 市長
阿久根 市助役
阿久根 市農政課長

農業振興を考える



市長



元 市長

市長 農業は何と言いましても市政の大きな柱です。行政にたずさわる私たちにとって、農業の振興は重要な課題です。そこで今日は日頃から農業に努力されている皆さん方の農業経営の苦労とか悩み、将来のご計画など、いろいろな問題について率直なご意見を聞かせていただきたいと思います。

講師 皆さん方もご承知のとおり、弓木野区は山間部の地域です。いま最盛期にある寒エンドウを作つてみましても、収穫が遅れる地域でございまして、価格の安い時期にしか出荷できないわけです。そこで、山の産物であるタケノコを中心とした農業に目が向けられ、現在、弓木野区では九九%のタケノコが共同出荷されています。

ところが、農家の中には、個々別々に販売されている方もあるようですが、農産物は共同出荷でという指導方をお願いしたいと思います。

農政課長 鈴鹿さんのところは一〇〇%近く、共販にのつていています。ところが値段の関係もありまして、なかなか共販にのらないところもあるようですね。

市長 しかし、どうですか。現在、弓木野・尾崎・田代が、タケノコの生産地区としてクローズ

問題の多い共販体制

アップされ、農協を通じて共販体制が確立されたわけですが、それ以外の地区も開拓されつつあるわけで、指導面において、共販体制にのせるということは、不可能ではないわけでしょう。

講師 以前としたら、半分以上はまとまりがついたようです。

しかし、今年は共販にのらない地区が、加工用のタケノコを、七十円と四十円まで落ち込ませる原因をつくっていたようです。

そこで共販体制の三地区が、農協を通じて、県外流通を交えじて話し合いましたところ、百円、九十円、七十円という協定価格になりました。高値で取り引きされるタケノコを、不当に安い価格で売りさばいたため、それが共販体制にまで影響しているわけです。

片野 温州みかんの場合は、む

が、野菜ではないかと思います。現在、阿久根の園芸振興会で、共販体制をもつてているのが、五品目あります。なかなか共販にのつてこないですね。



追口宗治さん

共販と言いますけれども、これは委託販売なんですね。だから地元市場に出荷していいわけです。そういうところに、農協との話し合いの場といふことも必要だ

市では、市民の皆さん方の暮らしと、福祉の向上を優先的に考え、よりよい市政を進めていきたいと考えています。そこで水産商工業とともに、本市の重要な基幹産業である農業問題を、市民の皆さん方とともに考え、一層農業振興を図るために、農業経営に取り組んでいる八人の方にご出席していただき、「市長と語る会」を、四月二十三日国民宿舎で開きました。会では、共同出荷・専門技術員の確保、土地基盤整備など、いろいろな問題がされました。

追口 私のところは、甘夏専門なんですが、大反対の人ほどほとんど熊本県の田之浦農協に出荷しているんですよ。と言いますのは、昨年のように甘夏の量が少ないときには、価格そのものはありませんが、かなりの差があります。しかし今年のように、甘夏の量が多いときは、銘柄の差といいますよ。だから、田之浦農協に出荷している私たち甘夏農家にとっては、共販にはためらうというのが実情です。



片野勲さん

抜本的な土地基盤整備を

市民会館横に普及所新築

上野 牛の多頭飼育をやろうとしますと、一番困るのが柔畜導入の資金です。

現在市との連携協議会として
二世農協に一千万円あります
が、この資金わくを、もう少しふやし
ていただきたいですね。

それと以前は、肉牛

それと以前は、肉牛の品評会があつたのですが、最近はないようですね。これもやつていただきたい。

上野用助さん

陸上自衛隊第八師団が、五月
十三日（日）市民会館で、災
害救助訓練をします。

自衛隊が災害救助訓練

が災害救助訓練

二十二日(土)午後六時から
は、市民会館ホールで、前夜祭
が行われ、「市民とのつどい」
があります。隊員と市民との交
流を深めることのつどいでは自衛

おもな日程は次のとおりで
五月二十二日（土）
市民とのつどい 午後六時から
市民会館ホール 入場料無

隊の音楽演奏や郷土芸能などが披露されます。会場付近には、市報写真も展示されますので、市民の皆さん方も、多数前夜祭においでください。

京田 驚本あたりの若い人は、土地問題をきかんに言います。土地基盤がなされていないところで、生産できないわけで、抜本的な土地改良事業、例えば干拓などは考えられないのでしょうか。

ふやそうと思つていたんですが、財源が不足していまして、昨年なみの当初予算となりました。

と思います。

販売しようという考え方でくるのだと、私は考えます。

んでいます。

には、とにかく食糧難解決のため
国が総力をあげて、干拓工事をや
ってきました。当時は、公害とい
う問題もなかったからできたんで
すよね。

これが成功しますと、現在の阿久根文旦にかわるだろうと言われていますが、半面、新品種であるだけに、危険な面もあります。そこで行政機関も、新品種に対する何らかの援助をお願いしたいわけです。

ましたし、休耕田にも補助する時代です。時代の風潮で公害問題や漁業補償の問題もありますので、今はもう、干拓事業をしようとしましても、国が許可しないんです。
川崎 第二次農業構造改善事業で私どもは、文旦にかわる五・八六の新品種を、約七十品種え込

中国 私は園芸の方からですけれども、イチゴの輸送の問題なんですよ。

A black and white portrait of Kawai Motoji, a man with glasses and dark hair, wearing a suit jacket.

の荷物は出水に移行されるわけで、集荷時間が一時間以上も短縮されたわけです。集荷時間が短縮された事で、地元は安いと分つても出荷せざるを得ない実情です。冬の間、コンテナを利用するのには、主にイチゴ・キヌサヤ・早掘りタケノコです。その産地は、出水地区野菜園地の中で南部だけです。ここの特徴は、河川沿

林 も ど う ゼ

徒手格闘訓練
装備品展示、武器展示、

それと中央青果市場のことです
が、駐車場がないんですね。駐車
場を完備できるところに、移転す
るようできないですかね。

青果市場の移転問題は、青果市

おめでた

